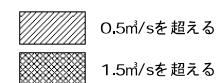


# 与左工門堤・第2又内堤ハザードマップ

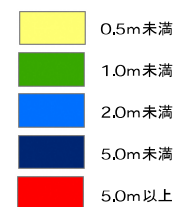


## 凡例

### 流速



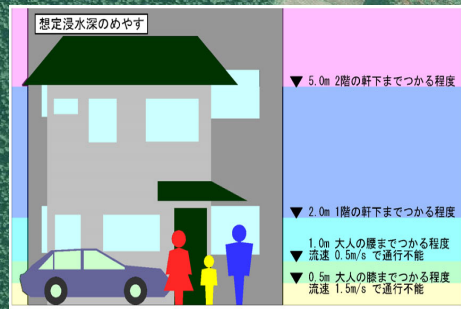
### 水深



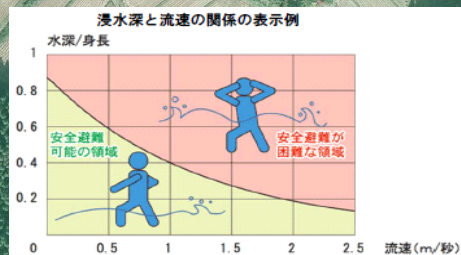
### 到達時間



## 凡例



| 浸水深  | 浸水の目安         | 流速との関係              |
|------|---------------|---------------------|
| 0.5m | 大人の膝までつかる程度   | 流速が1.5m/秒を超えると避難不可能 |
| 1.0m | 大人の腰までつかる程度   | 流速が0.5m/秒を超えると避難不可能 |
| 2.0m | 1階の軒下まで浸水する程度 | 避難不可能               |
| 3.0m | 2階の床下まで浸水する程度 |                     |
| 5.0m | 2階の軒下まで浸水する程度 |                     |



|        |                           |        |                           |
|--------|---------------------------|--------|---------------------------|
| 与左工門堤元 | 総貯水量: 2,000m <sup>3</sup> | 第2又内堤元 | 総貯水量: 7,000m <sup>3</sup> |
|        | 堤高: 2.3m                  |        | 堤高: 3.0m                  |
|        | 流域面積: 3.0ha               |        | 流域面積: 1.0ha               |

この図は、ため池の堤体が決壊した場合、総貯水量9,000m<sup>3</sup>(2000+7000)が、どのような経路を経て流下していくかを、国土地理院発表の基礎地図情報(数値標高モデル)5mメッシュを元に解析し、図化したものです。

満水状態のため池が決壊し、貯えられた水が一度に流れ出るといった場合を想定しています。図化されている洪水想定区域は、仮定に基づき予測した結果であり必ずしも、図のように浸水するとは限りませんので、予めご了承ください。

